

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語文法・作文B	
科目基礎情報							
科目番号	01232		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	一般教育		対象学年		1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	「Vision Quest English Grammar 24」 (啓林館)、「Vision Quest English Grammar 24 ワークブック」 / 「Vision Quest総合英語」 (啓林館)						
担当教員	水口 陽子						
到達目標							
(ア)高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する (イ)語・句・文における基本的な強勢や、文における基本的なイントネーション・区切りを正しく理解し、音読することができる。 (ウ)自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 (エ)日常的な会話文や短い英文を聞き、内容が理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目(ア)	高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する		高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を理解する。		高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を理解できない。		
評価項目(イ)	語・句・文における基本的な強勢や、文における基本的なイントネーション・区切りを正しく理解し、音読することができる。		語・句・文における基本的な強勢や、文における基本的なイントネーション・区切りを正しく理解することができる。		語・句・文における基本的な強勢や、文における基本的なイントネーション・区切りを正しく理解することができない。		
評価項目(ウ)	自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。		自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くための文法を理解できる。		自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くための文法が理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	前期で学んだ英文法の基礎に加え、関係詞、比較、仮定法、無生物主語などの英語に特徴的な文法を修得する。文法の知識を活かして、英語で書いて話す能力を身につける。単なる文法理解にとどまらず、「読む、書く、聞く、話す」という4技能の基礎力を養うことを目標とする。						
授業の進め方・方法							
注意点	英和辞典（紙または電子辞書）を持参すること。 毎回、教科書の問題を解いてから授業に臨むこと。ワークブックは復習に活用する。						
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	動名詞		動名詞の働き、意味上の主語、否定形を理解できる。		
		2週	分詞（1）		名詞を修飾する分詞、補語になる分詞を理解できる。		
		3週	分詞（2）		分詞構文の形と働き、意味を理解できる。		
		4週	関係詞（1）		関係代名詞の用法を理解できる。		
		5週	関係詞（2）		関係代名詞that、whatを理解できる。		
		6週	関係詞（3）		関係副詞の用法を理解できる。		
		7週	比較（1）		比較を使った表現を理解できる。		
		8週	比較（2）		最上級を使った表現を理解できる。		
	4thQ	9週	仮定法（1）		仮定法過去と仮定法過去完了を理解できる。		
		10週	仮定法（2）		未来を表す仮定法、wish、as if を使った仮定法を理解できる。		
		11週	否定		否定語の用法、否定の構文を理解できる。		
		12週	無生物主語・名詞構文		無生物主語構文を理解できる。		
		13週	接続詞		接続詞の用法を理解できる。		
		14週	前置詞・疑問詞		前置詞・疑問詞を理解できる。		
		15週	代名詞、まとめ		代名詞の用法を理解できる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	中間試験		定期試験		実技課題		合計
総合評価割合	30		45		25		100
基礎的能力	30		45		25		100